

# 校長室からつぶやき・・・ 『ツイート』新聞



宇美町立宇美南中学校  
第24号  
文責 校長 熊本 寿美  
令和3年9月6日(月)

キャリア教育 社会力育成に向けて。

プロに学ぶ！ 接遇マナー講座

9月2日(木)、2学年において、講師に社員教育接遇マナー研究所主宰の俵 純子様を講師にお招きし接遇マナー講座を実施しました。例年、職場体験の事前学習として位置づけています。本年度も職場体験の実施はかないませんでしたが、町内の事業所のご理解とご支援をいただきインタビュー活動を実施します。将来の自立に向けた夢や目標を考える職業観を、自分たちの主体的な活動で体験できるように工夫しての企画です。

マナー講座では、生徒たちが校長室からの案内や会の進行を自ら行いました。まず、2学年全体に自分の未来を考える「未来への手紙」と題して講話を行っていただきました。自分で創る自分の未来に向かって、「未来の自分は、今日からの努力の結果である。」と、明確な目標を掲げて誰もがもつ自分の可能性に向かって日々努力を重ねていくことの大切さを熱い思いで伝えてくださいました。そして、あいさつが、人としての人生を豊かにする人との出会いとなり心をつなぐ大切なものであること、同時に、社会人としても何より身に付けておくべきものであることを、おもてなしの心を込める接遇の本質を追求する熱いメッセージが伝えられました。次に、全体講話の後に行った学級別のマナー研修会では、6秒で伝わる第一印象の重要性において、4つの「日常行動」を追究する演習が行われました。生徒たちは、俵先生の声が続いて①明るいあいさつ②元気なハイ③さわやか笑顔④きびきび行動を復唱し、行動に示せるように、様々な接遇場面での言葉や動きを学びました。名前を呼ばれたり返事を求められたりする場面で「ハイ」とはっきりと言えることや、自分の考えを伝える時は、勇気をもって挙手するなど、主体性や積極性の発揮も社会力の重要な行動力であることを学べる機会となっています。今回の学びが、未来の自分づくりに一歩、前進しますように、と願っています。



「人生の詩(うた)」より 東井義雄

自分は 自分の主人公  
世界でただひとりの 自分を創っていく責任者

自分をのりこえては  
もっと大きい自分を創っていく  
もっと豊かな自分を創っていく  
もっと強い自分を創っていく  
もっと確かな自分を創っていく  
もっと深い自分を創っていく  
自分を創るのは 自分以外いないのだから

人生は ほんとうの私に めぐりあうための 旅

卒業生が魅せる南中の真の宝。

講話で紹介された言葉の詩の一部です。「自分を創っていく責任者」

先日、2人の卒業生からステキな話を聞きましたので紹介します。

「卒業してわかる南中のよさって何？」という問いに、一人は、「立ち止まってあいさつ」をしていると、高校の先生からとても素晴らしいとほめられました、と言います。そしてもう一人は、学年集会での先生の話の時に、南中の卒業生が一齐に正対して傾聴していると、そのことに高校の先生が驚き、大変素晴らしいとほめてくださったそうです。そして、これはとても良いことで素晴らしいことだからと、高校のその学年では、正対して話を聞く傾聴姿勢を全学年で取り組まれて実践されているそうです。

卒業生たちが、南中を離れても身に付けたことを実践していることが何より素晴らしく、このことが南中の誇りであり真の宝だとうれしく思いました。そして、そのことを気づき、ほめてくださった高校の先生の感性、ときちんと言葉をかけてほめてくれていることが、さらに南中の良さを輝かせていることに感謝の思いです。

卒業生たちの姿に、南中が取り組んでいることが自分を磨き、南中文化を輝かせる宝であることを改めて感じています。



「鍛えて・ほめて・励まして」 南中生のよさや頑張りが輝く学校づくり